

総務委員会 所管事務調査事項 提案一覧表

No.	テーマ	調査理由等
1	資産老朽化対策	本市では、現在取り組んでいる新清掃工場の整備をはじめ、政令市移行期に整備した施設の更新時期を迎えることを踏まえ、資産老朽化比率のさらなる上昇が懸念されること、行政サービスを維持するために不可欠な投資も必要な局面を迎えており、これらの投資は、将来負担比率や市債残高などに一定の影響を及ぼすことが想定される。 今後は、これらの指標への影響を見極めつつ、現存資産の建て替えや長寿命化対策など、本市の発展のために必要な投資とのバランスを踏まえながら、持続可能な財政運営に努める必要があるため、本市の当該計画の遂行状況と対象施設等の現地視察などを踏まえて調査検討を行いたい。
2	女性が活躍できる職場づくりについて	女性幹部を増やすとりくみが行われているが、目標達成に至っていない状況がある。 女性が活躍できる職場にするために環境や体制をどのように改善していったらいいのか調査する必要がある。
3	多様な主体との行政課題解決にむけた取り組みについて	本市では、市民・民間・学術機関との連携により、行政課題解決に向けた取り組みを推進している。 行政課題が複雑化していることから、さらに、行政課題の抽出や多様な主体の発掘を行い、連携事業を増やしていく必要がある。 また、本市ですでに提案され実施されている各事業の効果検証が十分とは言えないことから、その結果を踏まえ、継続的かつ効果的な事業展開につなげる必要があると考える。
4	災害救助法に基づく救助実施の指定について	本市においては2023年4月3日に救助実施市の指定をうけたところですが。 現在、政府の地震調査会などでは首都直下地震または富士山噴火など大規模な災害が近い将来発生することが危惧されており、災害及び減災に備えた仮設住宅の準備など様々な事について調査する必要がある。
5	目標管理	目標管理に取り組んでいる地方自治体も多いと思われませんが、人事考課と連携することが大変難しい所でもあります。 自治体における難しさについて、研究してはどうかと思います。
6	百万都市の実現	成田国際空港の倍増の拡張計画並びに羽田空港と京葉線の新木場とのJR線の直通運転の計画の実現等を踏まえて、百万都市の実現を目指すべきである。

7	人口減少の対策と、政策制度の検証と分析及び見直しの課題	<p>千葉市民は、人口が微増であります。いずれ人口減少が、押し寄せてくる事が想定されます。</p> <p>人口減少の歯止めのための取り組みの先進市の調査をし、政策制度に、どの様に反映してきたのか、多方面に渡り、どの様になされているのか、調査結果等を調査しながら、取り組み結果は、どうか。</p> <p>更に、人口減少に際し、市民への説明をどの様に、されているのか、調査研究したいと考えます。</p>
8	人口減少抑制に向けた取り組みについて	<p>・本市では、昨年1年間で5,000人の人口増を実現したが、先日厚生労働省が公表した2024年の人口動態統計では、出生数が70万人を下回り、将来の人口減少を避けることは容易ではない。</p> <p>・本件、令和6年第3回定例会の決算審査特別委員会でも指摘要望事項としても指摘したところであり、現在も当局ではPR動画の制作などに取り組んではいるが、更なる有効な施策を検討してもらうためには、議会としても本テーマについて調査研究をしていく必要があると考える。</p> <p>【調査内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の現状について。 ・当局側の現状の取り組みについて。 ・他団体の先進事例・有効事例の研究について。 ・人口減少抑制にとどまらず、人口増加に向けて取り組むべき施策について。
9	自動運転実証実験について	<p>・公共交通機関であるバス路線の廃止、縮小が深刻な問題となっており、本市においても同様である。</p> <p>・問題解決手段のひとつとして、運転手不足の問題解消につながる「自動運転の実施」が挙げられ、本市においてもデジタルツインを活用した実証実験を実施しているところ。</p> <p>・全国他地域においてはレベル4での運用を開始した自治体（※）もあり、先進的な取組を調査し、本市の自動運転実証事業の前進に寄与する提案を出来ればと考えるもの。</p> <p>※運行事業者は「民間」が大半。</p> <p>※レベル4での運行…松山市、日立市</p>
10	人口100万都市を目指す取り組みについて	<p>本市の課題には、街の魅力や子育て支援が挙げられますが、人口減少が進む中どのような取り組みができるかを考えてみると一つには成田空港の拡張工事に合わせ、千葉市がどのように関わり千葉市に人を集められるかを調査する必要がある。</p>